年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　　数学　　科目　数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅰ　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　　１組～　　５組

使用教科書：（ 数研出版　新数学Ⅰ　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】数学の基礎・基本を習得し、技能の習熟を図る。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察する能力を培い、それを活用し数学の良さを認識させる。

【学びに向かう力、人間性等】問題に対して筋道を立てて取り組み、解決に向けて努力する姿勢を身に付けさせる。

科目　数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について、基礎・基本的な問題が解けるようになる。	問題文から立式するなどして事象を数学的に考察する能力を培い、それを活用して処理できる能力を身に付ける。	提出物や宿題は必ず取り組ませ、学習習慣の定着を図るとともに、データの分析などでは日常生活との関連付けを行い数学を学ぶことの意義を感じられるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	確認テスト			○	○		1
	A 数と式の計算 【知識及び技能】 文字式についての基本的な概念を理解し、文字式を適切に処理して表す技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 事象を文字式として表現し、整式の加法・減法・乗法及び因数分解ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物を期限までに出し、小テストで合格点をとるまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	・指導事項 文字を使った式、整式の加法・減法、整式の乗法、乗法公式、因数分解 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 ①文字を使って式を表すことができる。②文字式を整理することができる。③文字式の計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ①事象を文字式として表現することができる。②整式の加法・減法・乗法を適切に処理することができる。③工夫して因数分解をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①宿題やワークを期限までに提出しようとする態度を身に付ける。②授業内での小テストに合格するまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	○	○	○	16
	確認テスト			○	○		1
	B 実数　1次不等式 【知識及び技能】 数の分類、根号を含む数、1次方程式、1次不等式について基本的な計算ができる。【思考力、判断力、表現力等】文章から数の関係性を理解し、適切に1次方程式・不等式を用いて表現することができる。【学びに向かう力、人間性等】提出物を期限までに出し、小テストで合格点をとるまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	・指導事項 数の分類、根号を含む式の計算、一次方程式及び不等式 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 ①数の分類ができる。②根号を含む数を適切に処理できる。③1次方程式・不等式の計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ①実数について理解し、文章から数の関係性を表現することができる。②1字方程式・不等式の法則について理解し、文章から数の関係性を理解して、基本的な問題について解を求める事ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①宿題やワークを期限までに提出しようとする態度を身に付ける。②授業内での小テストに合格するまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	○	○	○	17
	確認テスト			○	○		1
2学期	確認テスト			○	○		1
	C ２次関数 【知識及び技能】2次関数のグラフを描いたり、具体的な数字を代入して計算することができる。【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の性質を理解し、平方完成したり最大値・最小値を求めることができる。【学びに向かう力、人間性等】提出物を期限までに出し、小テストで合格点をとるまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	・指導事項 関数、２次関数とそのグラフ、２次関数の最大値・最小値、２次関数のグラフと２次方程式 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 ①2次関数の式から、放物線を描くことができる。②2次関数について、数を代入し値を計算できる。 【思考・判断・表現】 ①2次関数の一般形を平方完成し、頂点の座標や軸を求める事ができる。②2次関数の性質を利用し、最大値及び最小値をもとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①宿題やワークを期限までに提出しようとする態度を身に付ける。②授業内での小テストに合格するまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	○	○	○	19
	確認テスト			○	○		1
	D 三角比 【知識及び技能】 鋭角、鈍角の三角比の値を求める事ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 正弦定理・余弦定理を用いて未知数を求める事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物を期限までに出し、小テストで合格点をとるまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	・指導事項 三角比、三角比の相互関係、三角形の面積、正弦定理、余弦定理 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 ①鋭角の三角比を求める事ができる。②鈍角の三角比を求める事ができる。 【思考・判断・表現】 ①正弦定理・余弦定理を用いて未知数を求める事ができる。②三角比の相互関係を利用し、三角形の面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①宿題やワークを期限までに提出しようとする態度を身に付ける。②授業内での小テストに合格するまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	○	○	○	17
	確認テスト			○	○		1
3学期	確認テスト			○	○		1
	E 集合と命題 【知識及び技能】 集合と要素について理解し、命題の真偽について考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の性質を利用して、命題の真偽を確かめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物を期限までに出し、小テストで合格点をとるまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	・指導事項 集合、命題と集合 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 ①要素を分類することができる。②命題の真偽を確かめることができる。 【思考・判断・表現】 ①集合の性質を理解し、要素の個数や和集合・共通部分を求める事ができる。②命題の性質を利用し、必要条件・十分条件を分類できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①宿題やワークを期限までに提出しようとする態度を身に付ける。②授業内での小テストに合格するまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	○	○	○	14
	F データの分析 【知識及び技能】 データを表やグラフに整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表やグラフを用いてデータの傾向を分析することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物を期限までに出し、小テストで合格点をとるまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	・指導事項 データと度数分布表、代表値、散らばりぐあいを表す値、分散と標準偏差 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 ①データから度数分布表やヒストグラムを作成することができる。②データの代表値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①データの散らばりについて理解し、データを分析することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①宿題やワークを期限までに提出しようとする態度を身に付ける。②授業内での小テストに合格するまで粘り強く挑戦する態度を身に付ける。	○	○	○	14
	確認テスト			○	○		1
							合計 105

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（2学年用） 教科　　数学　　科目　数学Ⅱ

教　科：　数学　　科　目：　数学Ⅱ　　単位数：　4　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　5 組

使用教科書：（ 数研出版　新 高校の数学Ⅱ　　）

教科　数学　　の目標：

【知　識　及　び　技　能】　数学の基礎・基本を習得し、技能の習熟を図る。

【思考力、判断力、表現力等】　事象を数学的に考察する能力を培い、それを活用し数学の良さを認識させる。

【学びに向かう力、人間性等】　問題に対して筋道を立てて取り組み、解決に向けて努力する姿勢を身に付けさせる。

科目　数学Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数の範囲を複素数まで拡張し、基本的な計算ができるようになる。様々な関数について、その性質を理解し、利用できるようになる。	虚数で表すことの意義や、関数のグラフを用いて事象を数学的に考察する能力を培い、それを活用して処理できるようになる。	提出物や宿題は必ず取り組ませ、学習習慣の定着を図るとともに、データの分析などでは日常生活との関連付けを行い数学を学ぶことの意義を感じられるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	確認テスト			○	○		1
	A 複素数と方程式 【知識及び技能】 複素数の範囲で解の公式を利用できようになる。判別式を用いて解を判別できる。 【思考力、判断力、表現力等】 因数定理を用いて高次方程式を因数分解できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物をしっかり出させる。小テストで合格点をとるまで繰り返し反復させる。	・指導事項 二項定理、二次方程式の解、因数定理、高次方程式 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 複素数の範囲で簡単な計算問題が解ける。二次方程式の解の公式を用いて解を判別できる。 【思考・判断・表現】 高次方程式の解を利用して因数定理を用いることで、因数分解ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 宿題の提出、ワークの提出、小テストに合格する。	○	○	○	23
	確認テスト			○	○		1
	B 図形と方程式 【知識及び技能】 直線や円を平面上に表現できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 方程式、不等式の性質について考察し、解を求めたり領域を図示できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物をしっかり出させる。小テストで合格点をとるまで繰り返し反復させる。	・指導事項 点と直線、円の方程式、円と直線、軌跡、不等式と領域 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 平面上の点や直線の位置関係を理解できる。与えられた方程式のグラフが描ける。 【思考・判断・表現】 方程式を利用して図形の特徴を捉え、表現できる。不等式と領域を図示し、解を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 宿題の提出、ワークの提出、小テストに合格する。	○	○	○	23
	確認テスト			○	○		1
2学期	確認テスト			○	○		1
	C 三角関数 【知識及び技能】 三角比を拡張し、一般角として捉えられるようにする。三角関数の性質を理解し、グラフが描けるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 二次関数の性質を理解し、平方完成したり最大値・最小値を求める事ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物をしっかり出させる。小テストで合格点をとるまで繰り返し反復させる。	・指導事項 三角比、一般角、三角関数と相互関係、三角関数のグラフ、加法定理 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 360°までの三角比を覚える。三角関数のグラフが描ける。 【思考・判断・表現】 三角関数の相互関係を利用し、簡単な計算問題が解ける。加法定理を用いて扱える角度を拡張できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 宿題の提出、ワークの提出、小テストに合格する。	○	○	○	25
	確認テスト			○	○		1
	D 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数を拡張し扱えるようになる。対数を用いて数を表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数の特徴を考察し、グラフを描くことができる。対数関数の加法・減法が計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物をしっかり出させる。小テストで合格点をとるまで繰り返し反復させる。	・指導事項 指数の拡張、累乗根、指数関数のグラフ、対数、対数の性質、対数関数のグラフ ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 負の数、分数の指数を扱えるようになる。対数を用いて大きな数や小さな数を表せる。 【思考・判断・表現】 指数関数の性質について考察し、グラフを描くことができる。対数関数の性質について考察し、グラフを描くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 宿題の提出、ワークの提出、小テストに合格する。	○	○	○	25
	確認テスト			○	○		1
3学期	確認テスト			○	○		1
	E 微分法と積分法 【知識及び技能】 微分係数や導関数を求めることができるようになる。不定積分の計算ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 微分を利用して接線を求めたり、関数の極大値、極小値を求めることができる。定積分を計算し、面積を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出物をしっかり出させる。小テストで合格点をとるまで繰り返し反復させる。	・指導事項 微分係数、導関数、接線、関数の増減、関数の極大極小値、関数の最大最小値、不定積分、定積分、定積分と面積 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 微分係数・導関数を求める事ができる。不定積分の計算ができる。 【思考・判断・表現】 微分係数や導関数の性質を利用して関数の極大値や最大値を求める事ができる。定積分を利用して図形の面積を求める事ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 宿題の提出、ワークの提出、小テストに合格する。	○	○	○	36
	確認テスト			○	○		1
							合計 140

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科　　数学　　科目　数学A

教　科：　数学　　科　目：　数学A　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　1 組～　　5 組

使用教科書：（ 数研出版　新数学A　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　数学の基礎・基本を習得し、技能の習熟を図る。

【思考力、判断力、表現力等】　事象を数学的に考察する能力を培い、それを活用し数学の良さを認識させる。

【学びに向かう力、人間性等】　問題に対して筋道を立てて取り組み、解決に向けて努力する姿勢を身に付けさせる。

科目　数学A　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
集合と要素や数の定義を適切に処理し、身の回りの事象を数学的に分類することで、場合の数をあらわすことができるようになる。	集合や数の性質を用いて、場合の数と確率や最大公約数などを求める事ができるようになる。	提出物や宿題は必ず取り組ませ、学習習慣の定着を図るとともに、データの分析などでは日常生活との関連付けを行い数学的に考察することの意義を感じられるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	確認テスト			○	○		1
	A 場合の数 【知識及び技能】 集合を用いて要素を的確に分類できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 集合の要素の個数や順列・組合せを適切に計算できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な場合の数について考察し、検証してみる。	・指導事項 集合、集合の要素の個、和の法則と積の法則、順列、組合せ ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 集合と要素の関係を理解し、集合やその要素を表すことができる。 【思考・判断・表現】 集合の性質を利用し集合の要素の個数を適切に求める事ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な場合の数について考察し、検証することで理解を深めようとしている。	○	○	○	12
	確認テスト			○	○		1
	B 確率 【知識及び技能】 事象を捉え簡単な確率を求める事ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 独立な試行や条件つき確率を求める事ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 集合や要素の考え方を活用し、確率を表そうとしている。	・指導事項 点と直線、円の方程式、円と直線、軌跡、不等式と領域 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 事象を捉え、場合の数を適切に求める事で簡単な事象の確率を求める事ができる。 【思考・判断・表現】 独立な試行や条件つき確率の適切に処理し事象の確率を求める事ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 順列や組合せを用いて事象を表そうとする。 事象の確率について仮説を立て、検証しようとする。	○	○	○	12
	確認テスト			○	○		1
2学期	確認テスト			○	○		1
	B 確率 【知識及び技能】 事象を捉え簡単な確率を求める事ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 独立な試行や条件つき確率を求める事ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 集合や要素の考え方を活用し、確率を表そうとしている。	・指導事項 点と直線、円の方程式、円と直線、軌跡、不等式と領域 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 事象を捉え、場合の数を適切に求める事で簡単な事象の確率を求める事ができる。 【思考・判断・表現】 独立な試行や条件つき確率の適切に処理し事象の確率を求める事ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 順列や組合せを用いて事象を表そうとする。 事象の確率について仮説を立て、検証しようとする。	○	○	○	13
	確認テスト			○	○		1
	C 図形の性質 【知識及び技能】 角の二等分線や三角形の外心、内心、重心などの性質を理解できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 各図形の性質や定理を利用し角度や線分の長さを求める事ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 図形の性質に着目し、作図や計算によって未知数を表そうとしている。	・指導事項 図形の基本、角の二等分線と線分の比、三角形の外心・内心・重心、円周角の定理、円に内接する四角形、円の接線、方べきの定理、２つの円、作図、空間の直線、平面、正多角形、立体の切断 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 図形の性質を用いて辺の長さや角の大きさを求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の性質や定理について考察し、証明したり作図したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図形の性質について理解を深め、それらを用いて角や辺の長さなどについて考察しようとしている。	○	○	○	13
	確認テスト			○	○		1
3学期	D 数学と人間の活動 【知識及び技能】 約数と倍数やｎ進数を理解し、処理できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 倍数と約数の性質などに着目し、ユークリッドの互除法を用いて最大公約数を求めることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 整数の性質を使って数を様々な形で表現しようとしている。	・指導事項 約数と倍数、ユークリッドの互除法、２進数、点と位置の表し方、数学とゲーム・パズル ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 倍数と約数やｎ進数を適切に表すことができる。 【思考・判断・表現】 倍数や約数を用いて最大公約数や最小公倍数を求めたり、素因数分解ができる。ユークリッドの互除法を用いて最大公約数を求める事ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 約数や倍数など、数の性質について理解を深め、数を用いて表現される身の回りの事象について考察しようとしている。	○	○	○	13
	確認テスト			○	○		1
							合計 70

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科　　数学　　科目　（必選）数学Ⅰ

教　科：　数学　　科　目：　（必選）数学Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　　1 組～　　5 組

使用教科書：（ 数研出版　新数学A　　）

教科　数学　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　数学の基礎・基本を習得し、技能の習熟を図る。

【思考力、判断力、表現力等】　事象を数学的に考察する能力を培い、それを活用し数学の良さを認識させる。

【学びに向かう力、人間性等】　問題に対して筋道を立てて取り組み、解決に向けて努力する姿勢を身に付けさせる。

科目　（必選）数学Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
一年次で学習した数学Ⅰについて復習を行いながら、公式を利用することで解を導くことができるようになる。	公式の導出過程や様々な定理を活用して、問題に合わせた解き方を模索し、解を求める事ができるようになる。	演習を通して積極的に問題に取り組む姿勢を身につけるとともに、自ら考え、考察することができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 文字と式 【知識及び技能】 文字式の加法・減法及び乗法ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 公式を用いて展開したり、工夫して展開することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 文字式の四則演算の法則性について理解し、活用できるようになる。	・指導事項 文字を使った式、整数、整式の加法・減法、乗法、 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 文字式の計算ができる。 【思考・判断・表現】 公式を用いて文字式の計算が効率的に行える。 【主体的に学習に取り組む態度】 例題に対して数学的に考察し、効率的に計算を進めようとしている。	○	○	○	13
	確認テスト			○	○		1
	B 展開と因数分解 【知識及び技能】 乗法公式を用いて展開や因数分解ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 整式の法則性を捉え、それに合わせて因数分解をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 乗法公式と因数分解の関係を捉え、法則性を使って因数分解ができるようになる。	・指導事項 乗法公式、因数分解、根号を含む式の計算 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 整式を展開及び因数分解することができる。 【思考・判断・表現】 整式の特徴を捉え、工夫して因数分解をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 展開と因数分解の法則性について考察し、活用しようとしている。	○	○	○	12
	確認テスト			○	○		1
	C 二次関数とグラフ 【知識及び技能】 座標を用いて点を表現したりグラフを描くことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 二次関数の頂点や軸を求めたり、最大値・最小値を求めたりできるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 二次関数のグラフを描くことで特徴を捉え、解を求めようとする。	・指導事項 座標、一次関数のグラフ、二次関数のグラフ、二次関数の頂点と軸、 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 平面上に座標やグラフを描くことができる。 【思考・判断・表現】 式を変形し、グラフを描いたり頂点や軸、最大値や最小値をもとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 二次関数の特徴を捉え、問題に合わせて式を変形することで解を求めようとしている。	○	○	○	14
	確認テスト			○	○		1
	D 関数の最大・最小 【知識及び技能】 与えられた定義域に対して二次関数のグラフを描くことで最大値や最小値を求める事ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 二次関数のグラフから、二次不等式を解くことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 放物線の特徴やグラフを利用し、最大値・最小値について考察したり、二次不等式の解を求めようとする。	・指導事項 定義域、最大値・最小値、二次不等式 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 二次関数について定義域を適用し、解を求める事ができる。 【思考・判断・表現】 二次関数の特徴を利用して最大値・最小値を求めたり、二次不等式を解いたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 二次関数のグラフの特徴に注目し、定義域内での二次関数の値の変化について考察したり、二次不等式の解を求めようとしている。	○	○	○	13
	確認テスト			○	○		1
３学期	E 三角比 【知識及び技能】 三角比を用いて、与えられた条件から長さや角度を求める事ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の相互関係を理解し、正弦定理や余弦定理を用いて解を求める事ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比の有用性を理解し、身の回りの未知数を三角比を利用して求める事ができるようになる。	・指導事項 三角比、三角比の相互関係、三角形の面積、正弦定理、余弦定理 ・教材 教科書、ワーク、小テスト ・一人１台端末の活用　等 課題配信・協働学習	【知識・技能】 三角比を用いて辺の長さや角度を求めるようとしている。 【思考・判断・表現】 正弦定理や余弦定理を用いて未知数を求めたり、三角比を応用して図形の面積を求めたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの事象について三角比を用いて未知数を求め、検証することで考察することができる。	○	○	○	13
	確認テスト			○	○		1
							合計 70